

足あとウェーブ（展示場2階）

8月1日にリニューアルオープンした展示場には新しい展示物がいくつも導入されました。

2階「みんなでたのしむサイエンス」の「音がきこえる」エリアに登場した「足あとウェーブ」も、そんな新しい展示の一つです。

実はこの装置は展示改装のモットーとした「本物、実物、生の現象」には当たりませんが、どうしても導入したかったものです。

この展示の製作上の名前は「床面インタラクティブ映像」といいます。その名のとおり、お客さんが歩くとセンサーが足の位置を読み取り、コンピュータがリアルタイムで波紋を計算して描きます（図1）。この波は物理的に正確に計算されていて、反射、回折、干渉が起こります。実は、回折と干渉に特化した裏モードもあります（図2）。さらに、波とともに音も出ます。波のパターンは3種類、音は9種類あり、40秒ごとに切り替わります。皆さんも、2階「足あとウェーブ」で波と遊んでみてください（ただし、とても人気で人口密度が高いですから、人とぶつからないようにご注意ください）。

石坂 千春(科学館学芸員)

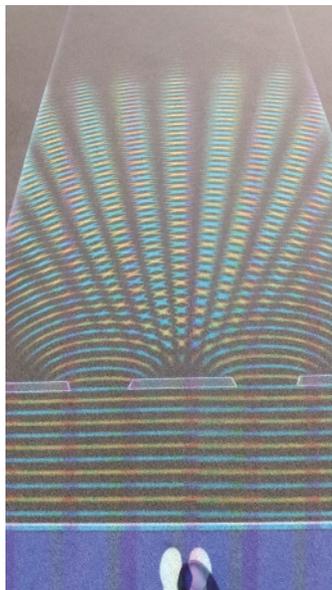


図1(左)
足あとウェーブ

図2(右)
裏モード